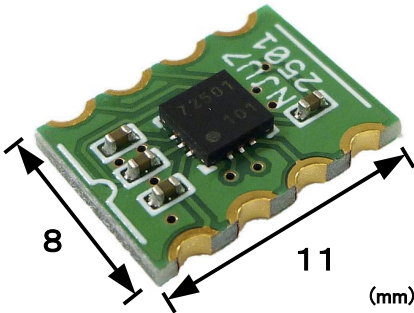


圧電用スイッチングドライバNJU72501使用

圧電サウンド駆動モジュール

3V入力で最大18V_{P-P}の高電圧ドライブが可能です。

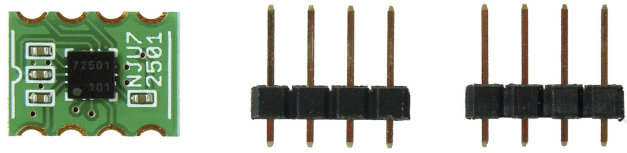


ハンダ付けの難しい小型パッケージICをDIP8ピンのICサイズにしました！

- ・電源電圧範囲：2.3～5.0V
- ・出力電圧倍率可変対応（1倍，2倍，3倍）のチャージポンプ回路内蔵
- ・DIP-8ピンICと形状互換により 付属ピン実装で8ピンICソケットに装着可能
- ・パソコンおよびチャージポンプ用に 積層セラミックコンデンサを実装済み
- ・端面スルーホール加工で基板に直接実装可能

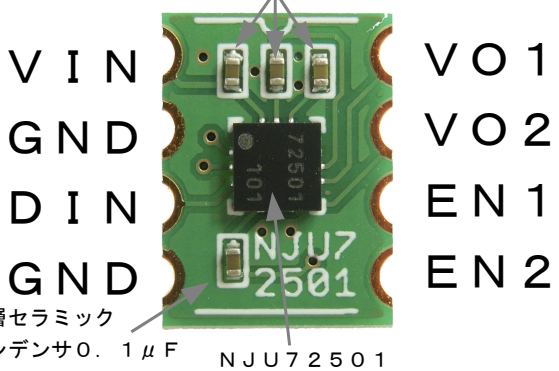
セット内容

- ・AE-NJU72501基板 x 1枚
- ・細ピンヘッダ1x4 x 2個
- ・紙データ（本紙）x 1枚



実装部品とピン配置

積層セラミックコンデンサ0.1μF

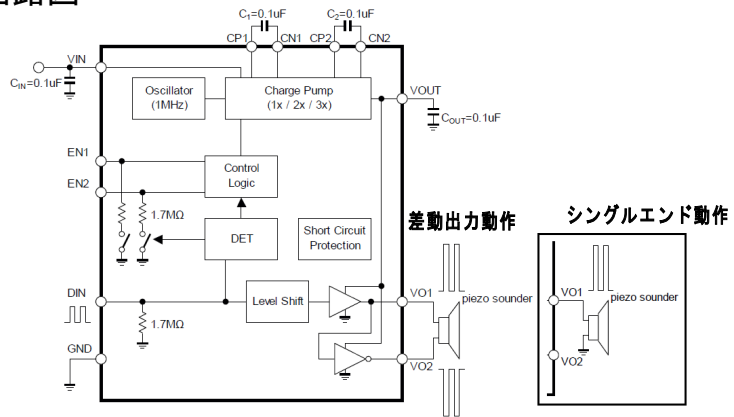


パソコンおよびチャージポンプ用のコンデンサが実装されていますので、電源、信号源、ピエゾスピーカ、チャージポンプモード設定用ジャンパを配線するだけで動作します。VINに3Vの電源、EN1，EN2をVINに接続すると、チャージポンプは3倍出力動作となります。さらにVO1，VO2間に圧電サウンドを接続することで差動出力となり、3x2=6倍、つまり3x6=18V_{P-P}で駆動されることになります。

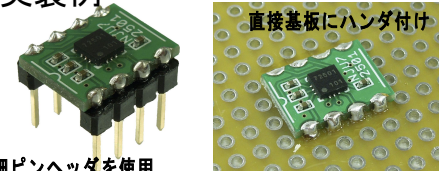
EN1	EN2	出力
0	0	出力停止
0	1	1倍
1	0	2倍
1	1	3倍

右の表は、チャージポンプモードの設定一覧です。
電源電圧3V時には1倍、2倍、3倍、5V時には1倍、2倍が推奨値となっております（詳細は、データシートをご参照ください）。

回路図



実装例



細ピンヘッダを使用
ピンヘッダをハンダ付けする際には、ユニバーサル基板やブレッドボードに長い方を刺した状態で本基板をハンダ付けすると作業し易く、仕上がりも良いです。固定せずにハンダ付けを行うと、2つのピンヘッダの間隔がずれてしまい、うまくソケット等に挿入できなくなる可能性があります。または、連結ソケット（両端オスピン）8P【通販番号 P-00264】をお使いください。